

# 世界の経営学から見る 未来の企業の在り方 @WinActorラウンジ2019

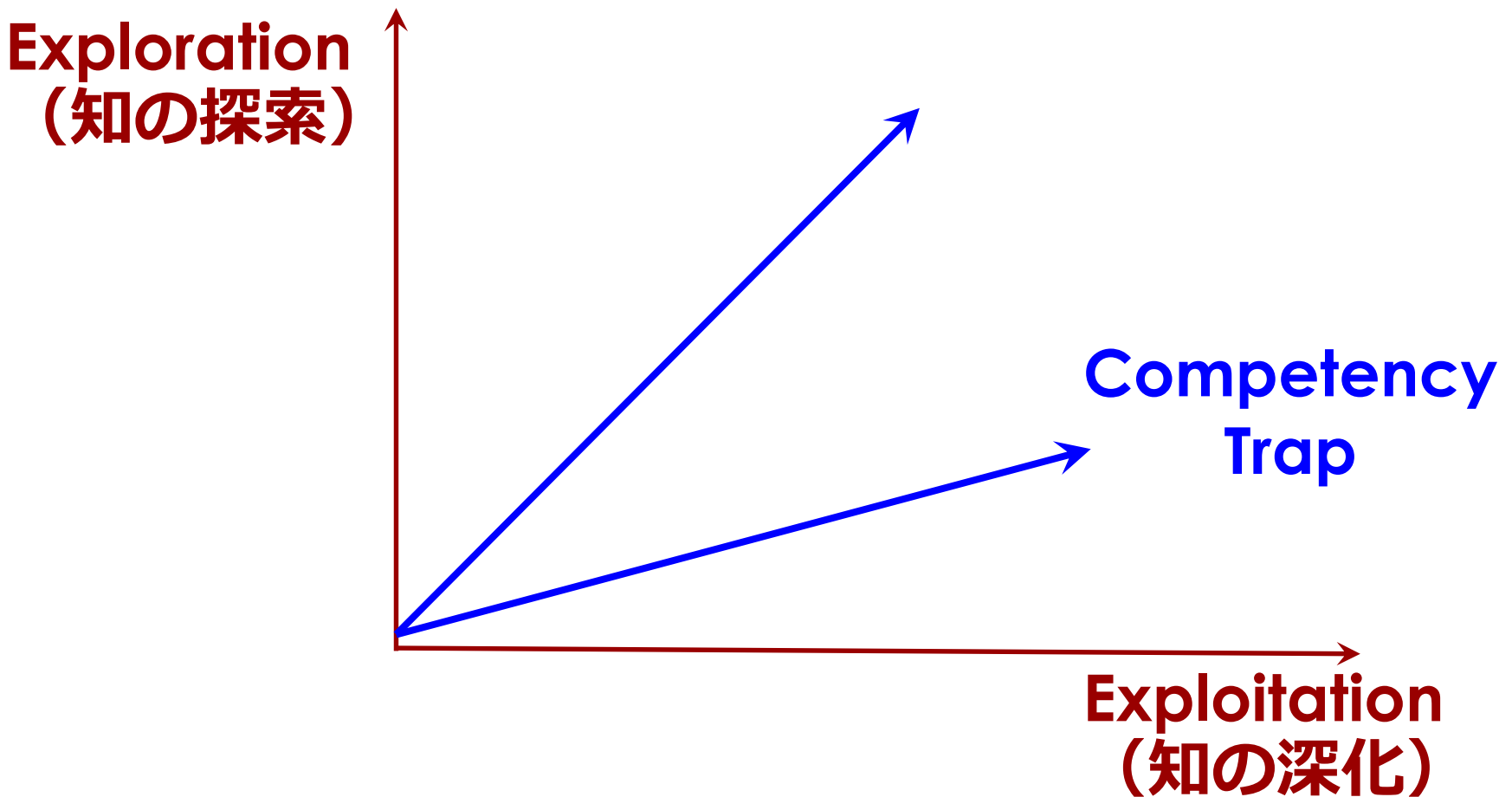


# イノベーションの本質： 知と知の組み合わせ

“Development in our sense  
is then defined by the  
carrying out of **new  
combinations.**”  
(Schumpeter 1934)



# イノベーションの理論： Ambidexterity (両利きの経営) (March, 1991)

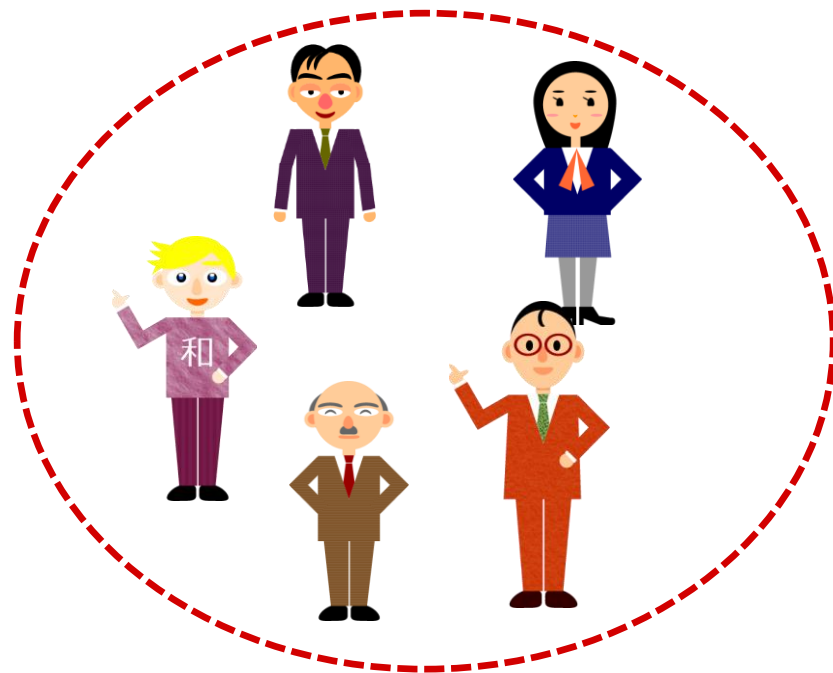
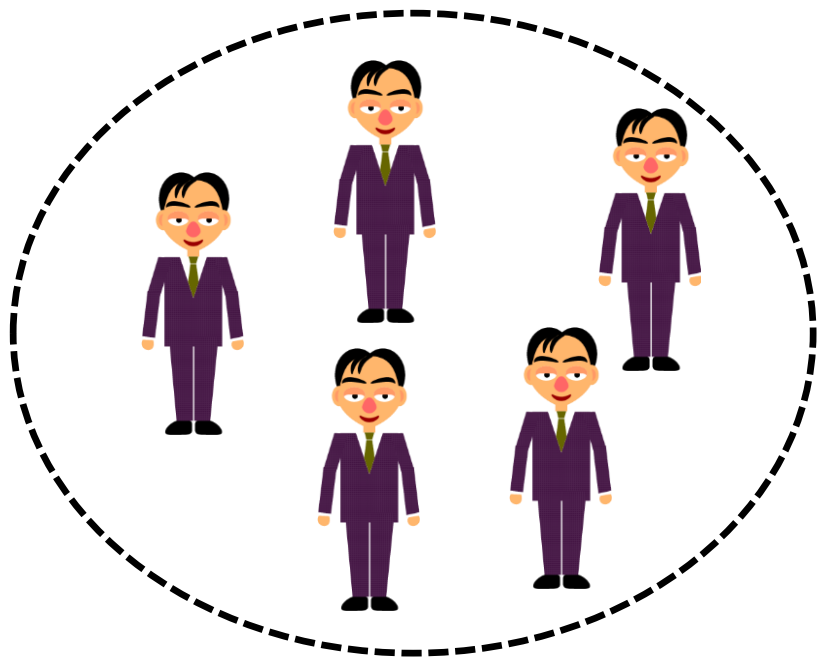


## (2) 戦略レベルの「知の探索」

- オープン・イノベーション (Chesbrough, 2003)
  - アライアンス、M&A、CVC
- CVCは「知の探索」型の投資
  - Tong & Li (2011)
- 投資企業にメリット
  - Dyshnitsky & Lenox (2005, 2006)
  - Park & Steensma (2012)

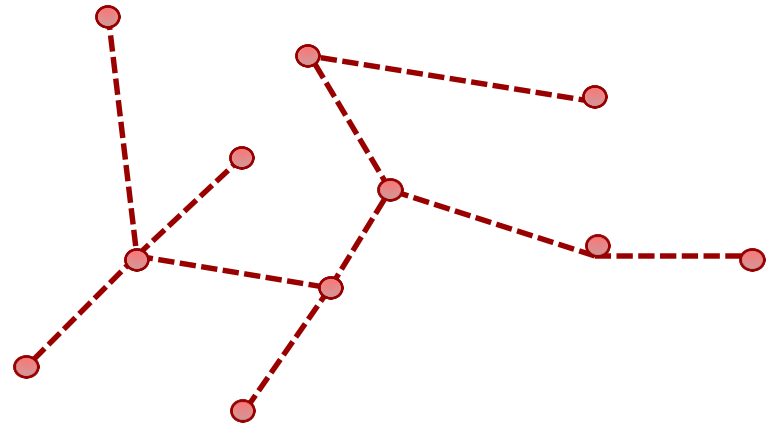
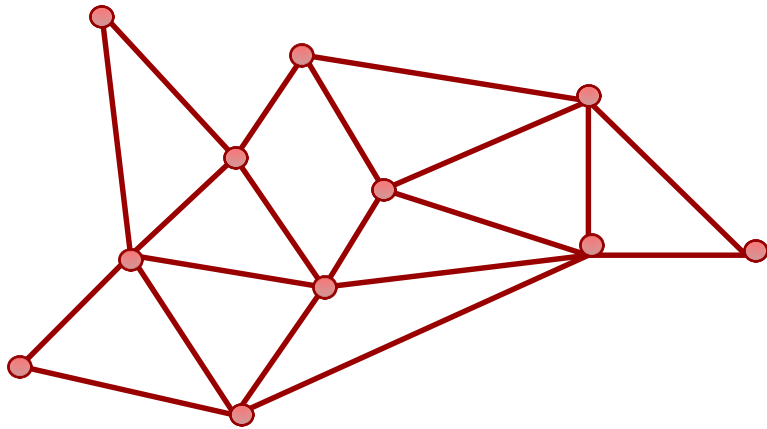
## (3) 組織レベルの「知の探索」

### ■ 人材の多様化 (March, 1991)



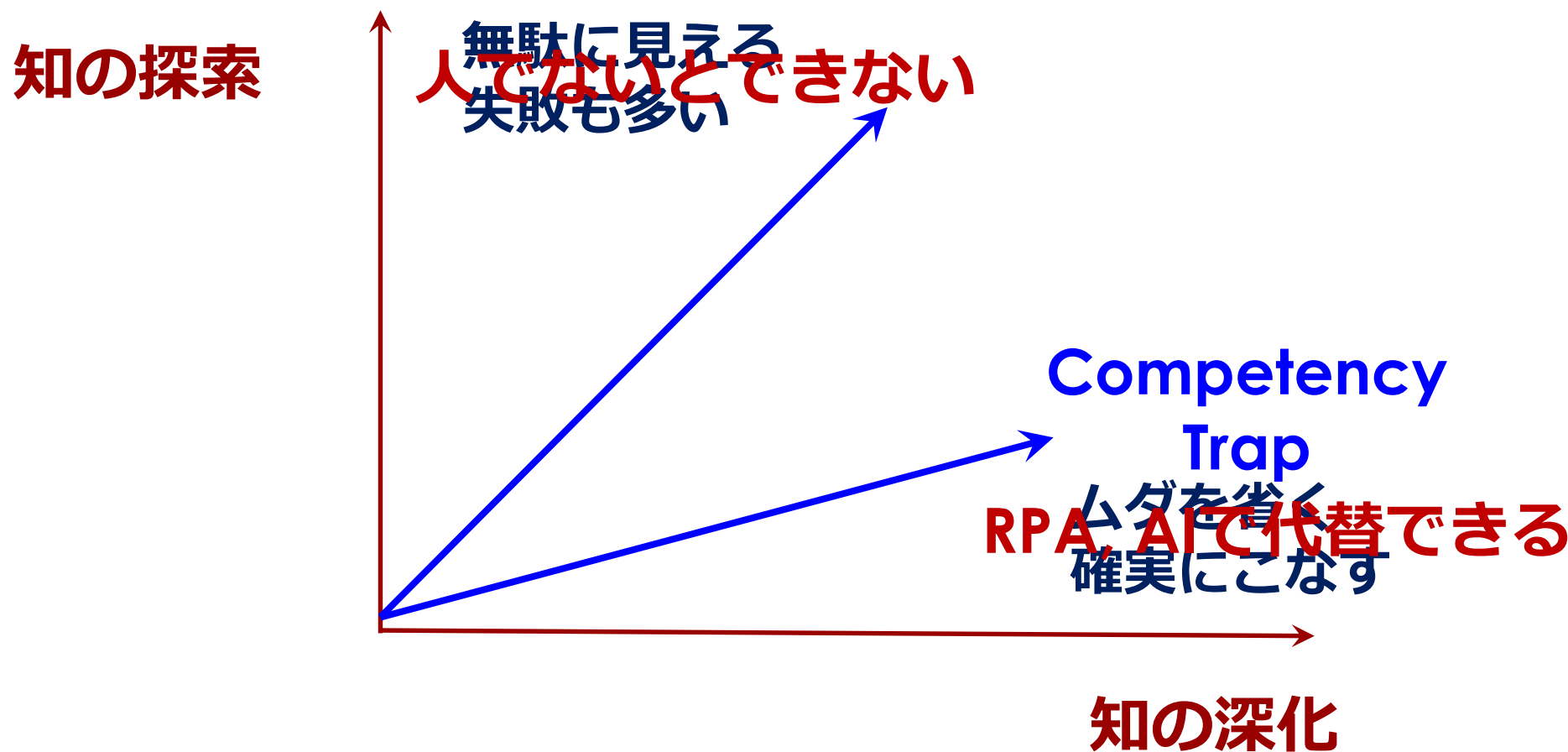
# (4) 人脈レベルの知の探索 ネットワーク理論

- 強い結びつき vs. 弱い結びつき



**「知の探索」を活かし、  
推し進めるには（１）**

# RPA, AIの導入は知の探索の為にある





**「知の探索」を活かし、  
推し進めるには（２）**

# センスメイキング理論 (Weick, 1995)

正確性  
Accuracy

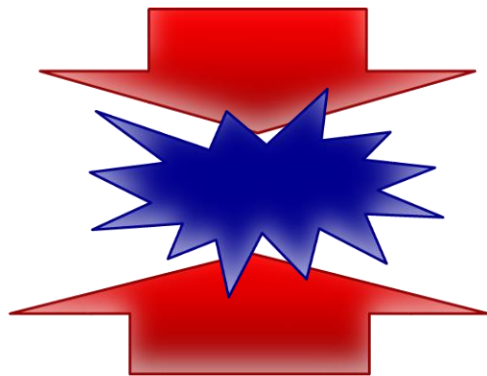


納得性  
Plausibility

# 今グローバル企業で 起きていること

- デュポン：100年委員会
- シーメンス：メガ・トレンド
- ネスレ：ニューリアリティー

長期ビジョンの策定



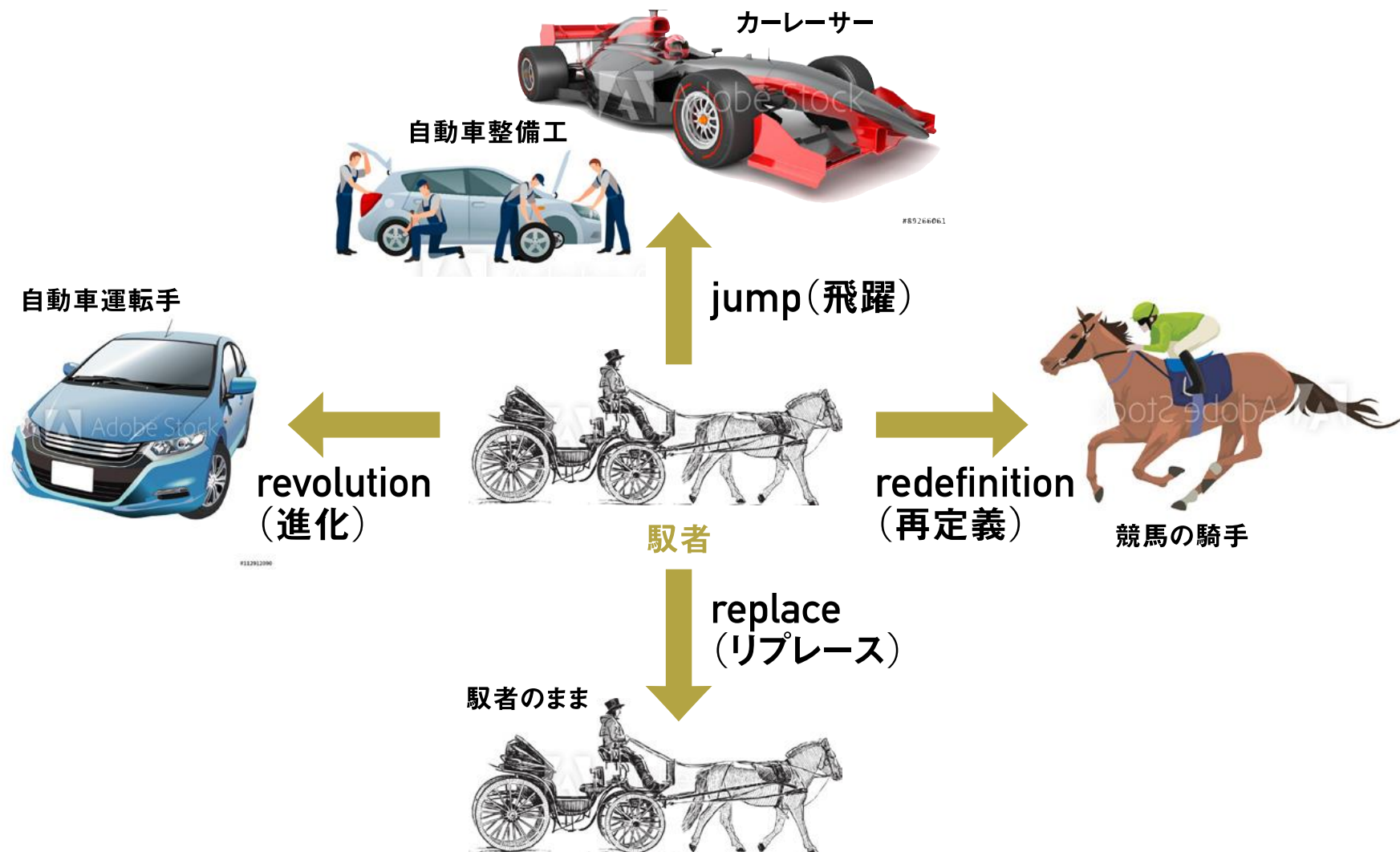
社員一人ひとりのビジョン



5TH AVE. EASTER 113



3529-6



# センスメイキング理論 (Weick, 1995)

正確性  
Accuracy



納得性  
Plausibility

# まとめ：御社の状況は？

- イノベーションは「知の探索」から生まれる
  - 個人レベル：失敗を促す仕掛け
  - 戦略レベル：オープンイノベーション
  - 組織レベル：ダイバーシティは「手段」
  - 人脈レベル：弱いつながらり
  
- センスメイキング